

「COOL CHOICE」普及啓発に資する 「ナッジ」の応用手法の研究と適用

ひろげる助成

1年目

調査研究

普及啓発事例
ヒアリング、分析

14事例

ナッジ活用事業
アンケート調査

1,501件

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

30%



ナッジを検討した普及啓発例(©××サイズ)

課題

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」を推進する普及啓発について、現場で効果的に活用できる手法の枠組みを構築することは重要な課題である。

目標

社会行動への介入の考え方である「ナッジ」の応用手法を検討し、実地に活用して検証することにより、普及啓発の枠組みを構築することを、3年間の研究の最終目標とした。

活動内容と成果

中部地方の地球温暖化防止化活動推進センター（地域センター）の参加のもと研究会を組織し、14事例の普及啓発事業についてヒアリング調査を行った。普及啓発は、参加などを相手に働きかける「アプローチデザイン」、資料、スライドなどの「コンテンツデザイン」、ワークショップ、セミナーなどの「コミュニケーション場のデザイン」、効果定着や結果をフィードバックする「フォローアップデザイン」から構成されたと考え、構造分析表による事例分析を行った。またナッジの効果を今後検証するための基礎的なアンケート調査を行った。



ナッジに関する第2回研究会

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

実際に行われている普及啓発事業は極めて複雑かつ重層的で、資料調査やヒアリングだけでは既存のナッジの抽出が困難だった。

■ 工夫した点

普及啓発事業を時系列に分解し、各段階の4分野のデザインの内容を分析することによってナッジの抽出と追加案の検討を行った。

| 活動地域 |  中部地方

〒461-0005
愛知県名古屋市中区東桜二丁目4番1号
電話：052-934-7295
E-mail：kikaku@kankyosoken.or.jp
<http://www.kankyosoken.or.jp/>



今後の
展望

本研究で得られた知見に基づき、中部地方の地域センターを皮切りに、全国の地域センターや基礎自治体において、普及啓発を構造的に企画するとともに様々なデザイン領域でナッジ適用手法を活用することが期待できる。